



▲多くの人でにぎわった納涼祭



ゆかたを着て風流に

夏越ゆかた納涼祭

7月31日、田川ごとうじ銀天街で、夏越ゆかた納涼祭が行われ、多くの人でにぎわいました。

これは、同じ日に行われる春日神社の祭りに合わせ、銀天街を縁日通りにしようと今年始めて開催されたもの。

後藤寺と書かれた大ちょうちんの下では、冷たいお茶やまんじゅうが振る舞われたほか、ゆかた姿で訪れた人には、春日神社の露天で使用できるわくわく納涼引換券が無料配布されました。

また夕方、銀天街の照明が消されると、通りに設置したちょうちん100個がほのかに浮かび上がり、アーケード内は幻想的な雰囲気に包まれました。

目指すは初戦突破

西田川レッドボーイズ

7月30日、市郡の中学生が所属する西田川レッドボーイズが市役所を訪れ、第41回日本少年野球選手権大会の出場を伊藤信勝市長に報告しました。

レッドボーイズは、6月に行われた県北部予選で、北九州ファイターボーイズを破り、全国のキップを勝ち取りました。

藤丸光幸監督は「投打のバランスがとれたチーム」と紹介。

主将の松田怜君は、「チーム一丸となって全力を出し切り、目指すは初戦突破です」と力強く抱負を話しました。

伊藤市長は、「最後まであきらめずに、悔いのない戦いをしてほしい。ぜひ田川に優勝旗を持ち帰ってください」と選手たちに激励の言葉を語りました。



▲表敬訪問をした西田川レッドボーイズの選手たち



▲真夏日の中、盛り上がったTAGAWAエントツライブ

音楽で夏の暑さを吹き飛ばせ

エントツライブ2010

8月1日、真夏の太陽が照りつける中、田川市を象徴する二本煙突がある石炭記念公園野外ステージで、音楽の野外イベント「TAGAWAエントツライブ2010」が開催されました。

県内外からレゲエやダンスグループなど総勢10組が参加し、各グループが熱いパフォーマンスを披露しました。

「イベントを通して多くの人に田川を知ってもらおう」と開催されたエントツライブは、今年で6回目。

会場には、ホルモン鍋やかき氷、フリーマーケットなどが立ち並び、訪れた観客たちは声援を送ったり食事をしたりして野外ライブを満喫していました。